

8. 始業点検

始業点検を怠ると事故の原因となる事があります。常に点検する習慣をつけ、本機を正常な状態に保つ事が安全につながりますので、必ず実施してください。

警告

- ⚠ 各部の点検を行う時は、本機を平坦で堅固な場所に置き、エンジンをかけて点検する項目以外は、必ずエンジンを停止状態としてください。
- ⚠ 点検して不具合が見つかった場合は、直ちに販売店または、整備工場に修理を依頼し、必ず修理が完了してから本機を使用してください。

1) エンジン始動前に行う点検

① 油漏れ

本機保管場所の下(床面)に油のにじみの跡が無いを確認してください。

② エンジンの油量

図8. 1のオイルゲージにて、油量を確認してください。

まず、オイルゲージを外しきれいな布でゲージを拭き取り、その後ゲージ差し込んで、油の付いている位置を確認してください。“F”と“L”の間にオイルが付いていれば、適量ですがそれより少ない場合は、オイルを補充してください。

尚、推奨するオイルは、下記の通りです。

推奨オイル

自動車用ガソリン エンジンオイル	マルチグレード	10W30
---------------------	---------	-------

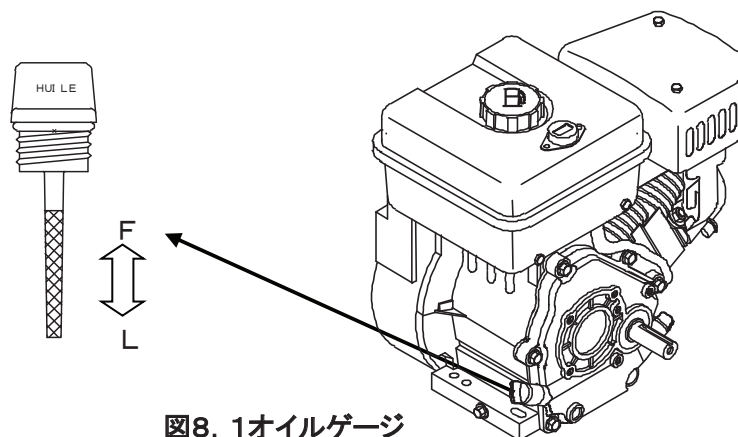


図8. 1オイルゲージ

③ 燃料

- a. 燃料の量の点検 : 燃料タンクに燃料が入っているか、燃料ゲージにて点検します。
- b. 燃料キャップの点検 : 燃料タンクのキャップが、確実に締まっているか点検します。
- c. 燃料漏れの点検 : 燃料タンク、燃料ホース等の燃料漏れが無い点検します。

注意

- ・燃料タンク、燃料ホース等より燃料漏れが無い点検してください。
- ・燃料を補給したときは、燃料キャップを確実に締め、こぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。